

# マイクのいらない集会「ふるさと対話」

自民党はさまざまな形で国民のみなさんの生の声「なまごえ」をうかがう【なまごえ☆プロジェクト】をスタートしました。「ふるさと対話」は自民党国会議員があなたの町を訪れ、地域住民の方々の「なまごえ」を聞かせていただく活動です。

## 029 愛知県大府市朝日町

開催日：10/02/08

訪問者：田野瀬良太郎総務会長、木村太郎

主催者：鈴木淳司支部長

「ふるさと対話」愛知県初上陸！田野瀬良太郎総務会長と木村太郎議員が大府市、瀬戸市にお伺いしました。地元の鈴木淳司支部長も一緒です。大府市では約30名の参加者から厳しいご意見を沢山頂きました。「国民から見れば本当に困っていることをやってくれていないと思う」「自民党に頑張ってもらいたいが、これまでひどいことをやってきた」等の批判や反省を求める厳しいご意見や民主党の政策に対する不安や不満が多く聞かれました。



### 大府市朝日町での「なまごえ」

- 「歴代総理がまずかった。解散するべきだった。ねじれの影響もある」
- 「予算委員会でも小沢問題に時間を使っているように見えるが、別のところで税金を使わずやり、本来の景気の議論をして欲しい」
- 「国民から見れば本当に困っていることをやってくれていないと思う」
- 「みんなの党元気がいいように見える。自民党元気が無い。西田参議院議員は元気が良い」
- 「会場に若さが無い。開催時間帯含め要検討」
- 「自動車産業不況で困っている」
- 「農家戸別保険は実際に本当に配るのか。選挙の時のことを考えると、みんながもらえると思っているがそうではない。その矛盾を突いてほしい」
- 「自民党頑張ってもらいたいが、これまでひどいことをやってきた。年金支給額も減っていく。少子化、待機児童対策は見捨てられる。取めるのもいいが、本当に反省して振り返ってほしい。仕分けで少ししか浮かないというが、まだまだ無駄があるように見える。それを今まで許したのも自民党。反省すれば一流になる」
- 「フランスは子育てしやすい環境作っている。駅そばに託児所があり、残業しても延長してくれる。保育士も普通の人の同じ給料があり、仕事として認められている。日本の場合、二人目出産の時、上の子を預かってくれるところが少ない。困ったときに手を差し伸べてくれる環境整備必要で、家事育児しにくい状況に気を配ってほしい。今子供持っている人の意見聞いてほしい。困ったときに安心できる場所必要。また、介護は重労働の割に給料少ない」
- 「三人目を出産した時、教育費や世話は大丈夫かと言われたが、親がいなくても子供の社会ができており、子供も協力してくれるので実は安心できる。また、子が多くなると、親も子供を見てそれぞれが個性だと認められる。住宅や経済事情あるがなんとかかなる。ただ産めと言うのではなく、子供が三人四人いることがどれだけいいことか伝えるのも大切」